

行ってし知って感じて 私達のまち いちかわ〔4〕



1970年代頃の国分寺 (広報広聴課旧蔵写真より)



北下瓦窯跡(写真提供:生涯学習振興課)

奈良時代の天平13年(741)、聖武天皇は各国に国分寺(正式名称は金光明四天王護国寺)・国分尼寺(法華滅罪之寺)の設置を命じた(国分寺建立の詔)。市川市にあった下総国府にも設置されました。国分寺は建て替えられていますが、現在も当時とほぼ同じ場所にあります。その東側で、国分寺の瓦を焼いたと思われる窯跡(北下遺

跡)が、外環道路の工事中に発見されています。国分尼寺は、現在では寺として残っていませんが、国分寺の北西方向にある国分尼寺跡公園から和洋国府台女子中学校の校庭の辺りにありました。

須和田の外環道路工事では、9世紀(平安時代)の井戸(後通遺跡)も発見され、その井戸は身分の高い人の屋敷内にあったと考えられています。それから約400年後の鎌倉時代の須和田には、下総国府の役所(国衙)で役人(在庁官人)として働いていた桑原氏が住んでいました。想像を働かせるなら、井戸があった屋敷は桑原氏のように平安時代の役所へ通う役人の屋敷だったかもしれませんね。

次々と明らかになってくる市川の歴史と、皆と共に成長し、変化する今の市川を感じてください。

【国分周辺を歩いてみよう】 文化の街かど・回遊マップ 国分・国府台地区編

「文化の街かど・回遊マップ 国分・国府台地区編」(右の地図)などの国分を歩くのに便利な地図を文化振興課(本八幡駅南口の情報プラザ2階)で配っているよ。

右の地図は、いちかわ観光・物産案内所(市川駅北口)、芳澤ガーデンギャラリー、木内ギャラリー、郭沫若記念館などでも配っているよ。

HP「国分・稲越界隈」のページからも見られるよ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/cul01/1511000036.html>

※外環道路工事に伴い、道が変更になっている箇所がありますので、道に迷わないよう注意してください。

【考古博物館 小企画展「太鼓塚と国分尼寺—発掘調査成果と課題—」】

考古博物館が行った学術調査を基に、実習生が国分尼寺跡の基礎の正確な範囲を調査し、その成果を展示中です。2013年6月まで(休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始)。

■後通遺跡の発掘は、千葉県教育振興財団文化財センター(043-424-4850)が担当しました。

※国分尼寺跡公園のルビは公園としてのよみで、史跡としての名称・よみとは異なります。

市川市映像文化センター(市史編さん事業担当)

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階

TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356 <http://www.city.ichikawa.lg.jp/shishihensan>